

# 確実な安全対策と 情報共有体制を構築

## 道建協ら新潟で講習会



日本道路建設業協会北陸支部  
と新潟県アスファルト合材協会  
は4日、新潟市の新潟東映ホテ  
ルで安全講習会を開いた。両団  
体の会員企業の代表ら125人  
が参加した。

海野正美支部長は、建設業界  
で労働災害による死傷者数が中  
長期的に減少していることを示  
しながら、「環境の困難を憂え  
ることなく、安全対策を確実に  
行うことが大切だ。各現場で異  
常や危険を即座に報告し情報を  
共有する体制を維持、構築して  
ほしい」と力を込めた。写真。  
北陸地方整備局企画部の稲本

義昌工事品質調整官が「工事の  
安全管理」、日本自動車連盟新  
潟支部の鈴木健二郎事業課長が  
「建設工事に係る交通安全対策」  
についてそれぞれ講演した。

事例発表では、福田道路の遠  
藤祐亮監理技術者が「R4能越  
道洲衛舗装その2工事」、本間  
道路の室橋龍之介現場代理人が  
「栗ノ木道路地表道路その10工  
事」の取り組みを紹介した。  
最後に両団体の安全環境委員  
長が安全パトロール活動を報告  
した。